

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族ともども、平成28年の輝かしい新年を、健やかに迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年中は、愛荘町行政各般にわたりまして、ご支援・ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

本年度は、新しい町愛荘町が発足し10年目の節目の年度を迎えました。昨年11月22日には「愛荘町町制10周年記念式典」を挙行させていただきました。

住民の皆様、今日までの力強いご支援とご協力のたまものであり、心から敬意と感謝を申し上げます。

この10周年を期に、より一層愛荘町の振興・発展に期すべく職員ともども決意を新たにいたしましたところでございます。皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻いただきますよう切にお願い申し上げます。

今、国におきましては、人口減少を克服し、活力ある地方の創生を内政の重要課題と捉まえ、今後の目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」や、これを実現するため、基本的な方向や、具体的な施策を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたところでございます。

活力のある日本社会の維持を目指し、地方自治体に対しても、地方が自ら考え、責任をもって戦略を推進することを求めているなど、安心して暮らせるまちづくりは重要な課題となっております。

本町におきましても、急激な人口減少にはならないものの、近い将来の人口減少に歯止めをかけ、人口の現状維持を図るとともに、本町にあった活力あるまちづくりを実現するため、住民代表や産業界・官公庁・学識経験者・金融機関・報道機関・労働者、いわゆる産・官・学・金・言・労の皆様、に「愛荘町みらい創生会議」に参画していただき、地方創生を実現するための「愛荘町総合戦略」の策定を進めており、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進し、愛荘町に住んで良かったと言ってもらえるまちづくりを進めて参ります。

また、愛荘町は子育て世代の転入も多く人口が緩やかに増加しております。このことから、愛荘町の未来を担う子育て世代に安心感を持っていただき、子どもたちの健やかな成長を支援させていただくため、昨年4月より町に、「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期にいたるまで、必要な情報を共有し、切れ目なく支援することや、子育て家庭のニーズを把握した上で、必要なサービスが円滑に利用できる支援体制の確立をいたしました。

また、保育園の待機児童の解消と防災拠点施設を兼ね備えた町立つくし保育園の整備を

進めているところでございまして、本年3月の完成を予定いたしております。

今後とも、安心して子どもを産み育てることができる、子育て支援体制の強化を図り、「子どもを産み、育てるなら愛荘町」と言われる、「子育てに優しい町愛荘町」を目指して参ります。

その他に、去年は台風やゲリラ豪雨による大きな災害は、幸いにも本町ではありませんでしたが、「住民皆様方の生命と財産を守る」という、町に課せられました最も重要な使命を意識しながら、防災、減災対策に取り組みますとともに、高齢者や障害者など地域福祉の充実、愛荘町の観光を含む地域資源を全国に発信いたします観光振興、第6次産業の振興などの農業問題、教育問題などなど課題が山積いたしております。

本年は、このような課題に職員ともども積極的に対応して参りたいと考えております。

今後とも、町政に対しまして皆様方のご支援・ご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年1月4日

愛荘町長 宇野 一雄